どうにかする力

泗水小学校だより
R4．11．7（月）
No. 30
校長　工藤竜一

【校訓】なかよく　つよく　しんけんに
【学校教育目標】自立する泗水っ子の育成
～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

ふれあいタイム～保護者や地域の皆さんのご協力ありがとうございました！～

１１月４日（金）の２～３校時に、本校１、２年生と保護者・地域の皆さんが昔遊びで交流する「ふれあいタイム」を行いました。この活動は、生活科の学習として設定しており、地域の方と触れ合い、感謝の心や地域を愛する心を育てることを目的として実施しています。本校地域学校協働活動推進員の茶木谷さんのコーディネートにより、実施することができました。

当日は、お忙しい中、３０名の皆さんにお集まりいただき、１０種類の昔遊びの「先生」を務めていただきました。駒回しやめんこ、ビー玉、お手玉、あやとりなど初めて挑戦する子どももいたようですが、優しく教えていただき、あちこちで歓声が上がっていました。

昨年度までは新型コロナ感染防止のため実施できませんでしたが、今年度は感染対策をとった上で実施させていただきました。多くの皆さんにご協力いただき、本当にありがとうございました。

あやとりで楽しく交流！

ビー玉を転がして命中させよう！

「ＰＴＡ給食試食会」が開催されました

１１月４日（金）、ＰＴＡ研修委員会主催で１年生保護者を対象にした給食試食会が開催されました。３０名ほどの出席がありました。まず、泗水学校給食センターの技術主任で管理栄養士の財津香代子先生から講話をしていただきました。「ふるさとくまさんデー」や「きくちさんデー」など地産地消の取組や、安心・安全な給食の工夫を詳しく説明されました。泗水学校給食センターでは、１９人の調理員さんが勤務されています。「手洗いに始まり手洗いに終わる」衛生管理と事故防止のため細心の注意を払いながら調理をされています。出席された保護者の皆さんも初めて聞かれる話が多かったと思います。その後、当日の献立で給食を試食された後、１年生の給食の様子を参観していただきました。お忙しい中参加していただいた保護者の皆さん、ありがとうございました。

☆校長室から独り言２７☆

中３夏休みの思い出①～「自分もやればできるんだ！」～

季節感はありませんが、私の中３夏休みの思い出を書きます。中学時代は野球と遊びに夢中で、勉強といえば定期テスト前日の一夜漬けだけでした。中３の中体連大会が終わり、いよいよ受験。これまで勉強をしておらず、何から始めればよいのかわかりません。たまたま新聞広告で見かけた、熊本市内の進学塾の夏期講習の生徒募集に「これだ！」と飛びつき、親に頭を下げて高い授業料を出してもらい、夏休み初日から通うことにしました。

私の実家は、旧旭志村でも鞍岳の麓のほうにある地区。塾に通うのは大変な長旅でした。夏の猛暑の中、毎日高江駅まで往復２０㎞の坂道を自転車で走り、交通センターまでのバスの中で仮眠をとり、家に帰ったら山のように出る宿題を睡眠２時間でやり通しました。きつくてやめたいと何度も思いましたが、授業料は前払いしてもらっており、親に申し訳がたちません。夏休みの約４０日間、なんとかやり抜きました。

寝ずに勉強を続けて夏休みも後半になると、次第に難しい問題が解けるようになってきました。それまで苦手だった数学や理科の問題が、結構スラスラ解けるようになりました。毎週１回、クラス替えのテストがありました。もちろん、ずっと成績が下のほうのクラスにいましたが、最後の週にはなんとトップのクラスに入りました。そのクラスは、夏期講習前から通塾している生徒だけの特別クラスで、１週間そのクラスで授業を受けました。

夏休み明け９月の共通テストでは、２３０点で初の学年１位。いろんな先生に、「お前どうしたんだ？」と不思議そうに声をかけられました。「自分もやればできるんだ」初めて勉強で自信が持てた夏休みでした。